



平成22年度地域の科学舎推進事業「地域ネットワーク支援」に採択  
【Science for All Fukuokans ネットワーク (SAFnet) の構築】  
～「サイエンスモール in 福岡」～

## 概要

九州大学を提案機関とする4大学、福岡県、福岡市、財団法人九州先端科学技術研究所は、独立行政法人科学技術振興機構が実施する平成22年度地域の科学舎推進事業「地域ネットワーク支援」に、福岡県下広域にわたる大学、行政、企業、諸団体による連携組織「Science for All Fukuokans ネットワーク (SAFnet)」の構築を提案し、この度採択を受けました。

## 背景

福岡県下で開催される科学コミュニケーション事業は、福岡県が短期間(1ヶ月)開催する科学催事をはじめ、大学や企業、諸団体などによる継続的な活動が行われ、その内容も多彩です。

これまで大学、行政、企業、諸団体が行っていた事業は、(1)個々の活動は活発ながらも孤立、(2)事業形態と内容のマンネリ化、(3)事業実施人員の不足、(4)科学への無関心層を取り込む難しさ、(5)事業展開地域の偏り(都市部偏重)などの共通の課題を抱えています。

このような中、平成21年にシンポジウム「地域の科学教育を考える」(於:福岡大学)が開催され、各実施機関の連携の必要性が切望され、これを受けて九州大学、西南学院大学、福岡大学、福岡教育大学の関係者が、共通課題を解決するための方策について議論を重ね、個々の事業の特徴と得意とする実施内容を活かしたネットワークを構築し、福岡県下全域における活動の一層の活性化を図る必要があることが分かりました。

## 内容

今回、独立行政法人科学技術振興機構が、国民の科学技術についての興味・関心を深めるため、科学コミュニケーション活動を支援することにより、国民が科学技術や理科に身近に触れる機会を充実させる「地域の科学舎推進事業」の一環として平成20年度から実施している「地域ネットワーク支援」の平成22年度事業として、九州大学を提案機関とする4大学(九州大学、西南学院大学、福岡大学、福岡教育大学)、福岡県、福岡市、財団法人九州先端科学技術研究所(運営機関)を中心に「Science for All Fukuokans ネットワーク (SAFnet)」の構築を提案し、この度採択を受けました。この「地域ネットワーク支援」事業は、自治体や大学等を中核として、様々な活動主体が参画し、相互に連携し合う地域ネットワークの構築を支援するものです。

SAFnetは、福岡県下広域にわたる大学、行政、企業、諸団体が連携して構築するもので、ネットワーク構築推進の核として、個々の活動実績と人材情報を集積し、これまで個々に実施しているサイエンスカフェや理科教室をはじめとする実績・経験に基づいた活動を活用し、個性を活かしつつ、ネットワーク全体としての活動「サイエンスモール in 福岡」を展開していきます。

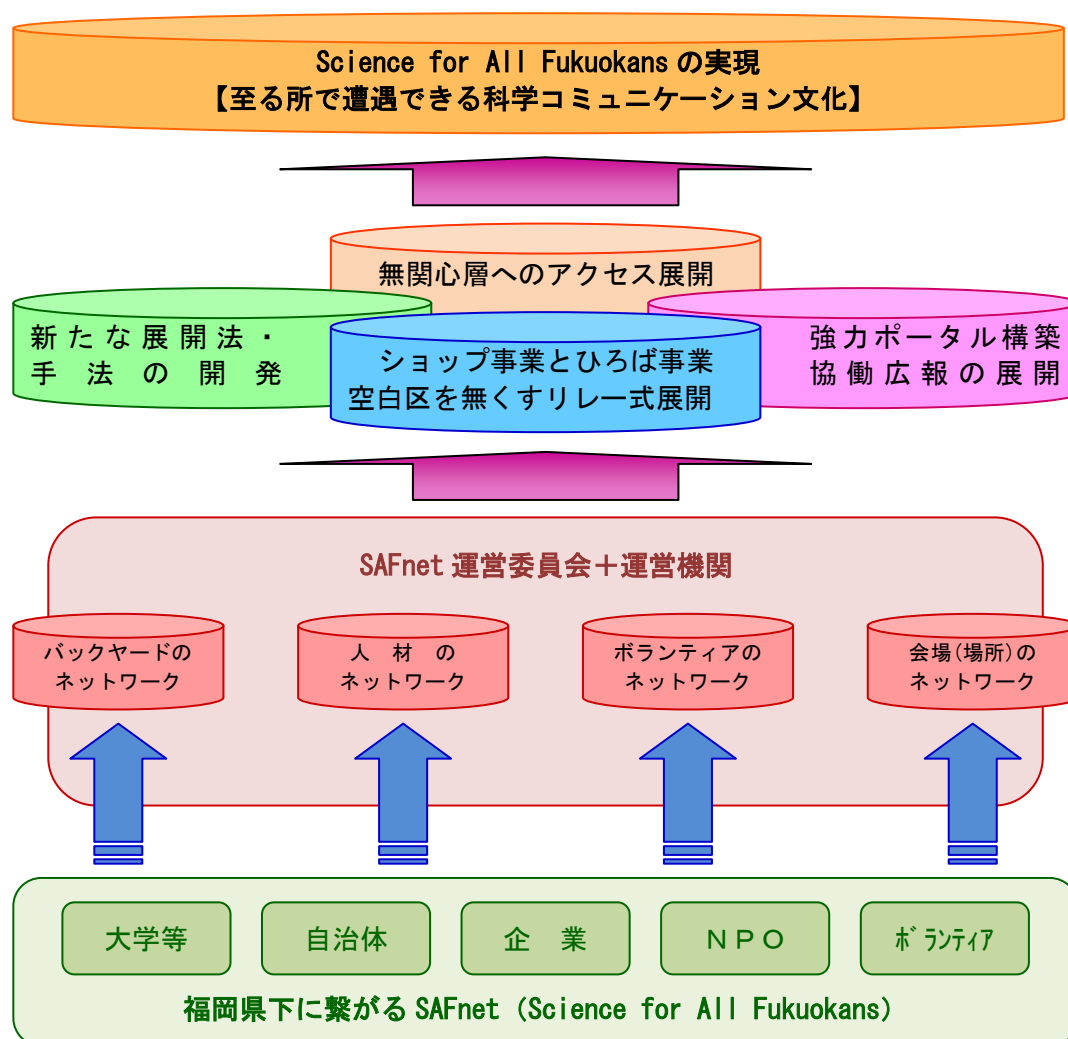
この「サイエンスモール in 福岡」の実施により、福岡県下の隅々まで文化としての科学が浸透し、科学を身近な自分の問題として考え扱うことのできる科学リテラシーを持った市民の育成への貢献が期待され、SAFnetとそれによる諸活動は、福岡県の人々が科学技術を通して真に豊かで平和な生活を営むことや、社会における科学の位置付けが確固としたものとなることへの一助となると考えています。SAFnetは科学技術立県・福岡を創造し、また、日本における科学コミュニケーション活動ネットワークのモデルとなることを目指しています。

■SAFnetの構成等

連携機関：九州大学，福岡県，福岡市

運営機関：財団法人九州先端科学技術研究所

参加機関：西南学院大学，福岡大学，福岡教育大学ほか，



■支援期間等

支援期間：平成22年7月1日～平成25年3月31日

支援額：各年度1,300万円(上限)

【お問い合わせ】

九州大学高等教育開発推進センター(提案機関)

教授 副島 雄児

電話：092-802-5832

FAX：092-802-5832

Mail：okosoe@rche.kyushu-u.ac.jp